



手話をおぼえよう!

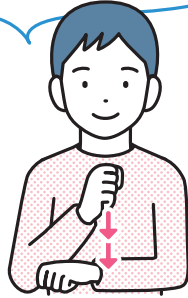
手話と親しむために身近なものから覚えて積極的に使ってみましょう。日常生活で何気なくしている自然な動作が、手話に似ている場合もあります。また、手話以外に役立つコミュニケーション方法も知っておきましょう。

こんにちは



両手の人差し指を
向かい合わせて曲げる。
〔あいさつ〕を表現

おつかれさまです

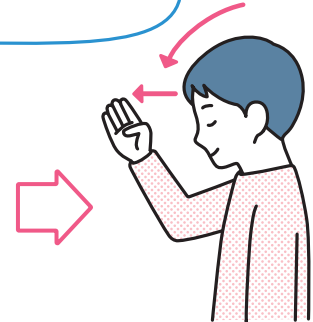


右手でこぶしを作って
左手の手首のところを
トントンと2回たたく。

よろしくおねがいします



片手のこぶしを
鼻にあてる。
〔よい〕を表現



手を開き、頭を下げ
ながら手を前に出す。
〔お願い〕を表現

ありがとう



片方の甲にもう一方の手を
乗せて上にあげる。
〔力士の手刀と同様〕



頭はおじぎをするように
軽く下げる。

ごめんなさい



親指と人差し指で
眉間をつまむ。



手を開き、指をそろえて
下へおろしながら頭を
下げる。

接し方の
ポイント

手話だけではなく、その人に合ったコミュニケーション方法でサポートすることが大切です。スムーズなコミュニケーションに役立つ手がかりを見つけることが大切です。

●手話以外のコミュニケーション

筆談



ノートやメモ帳などに文字を書きながら会話をしましょう。読み書きが苦手な人もあるので、あいまいな表現や、回りくどい表現はさけて、短くわかりやすい文章を書くようにしましょう。

口話



補聴器などを使うことによって、音声による会話ができる方もいますが、大きい声だと逆に聞き取りづらくなる場合があります。はっきりと口を動かしながら、ゆっくりと話すようにしましょう。

指さし
身ぶり



たとえば、図やイラストを描いたり、ジェスチャー(身ぶり)をしたりして、こちらが伝えたいことを表現するのも有効な方法です。必要に応じてさまざまな方法を組み合わせてみましょう。